

# お手入れ ガイド

# フライヤー



※詳しいお手入れ内容は取扱説明書をご確認ください。

## 毎日のお手入れ

### 排油の前の作業

- 1 油温調節ダイヤルを 90℃ にセットしてください。



- 2 100℃ 以下になるとヒーターランプが点灯します。ランプが点灯したことを確認してください。



- 3 ヒーターと油の温度が十分に下がったら電源スイッチを「OFF」にしてください。



### 付属品

- 1 付属品を取り外し、中性洗剤で洗浄してください。



- 2 しっかりと水洗いをし、水分を拭き取ってください。



### ヒーターユニット、排油、油槽

- 1 ヒーターユニットを本体から外してください。



- 2 本体固定板の切り欠き部へ突起部を引っ掛けてヒーターユニットを斜めにセットし、約3分油切りをしてください。



- 3 ヒーターユニットを外して、排油の容器を用意し、排油してください。排油の容器は必ず、金属製のものを用意してください。



- 4 油槽内を中性洗剤で洗浄し、きれいな水で湯せんして、排水します。



- 5 このとき洗剤が残らないようにしっかりと水洗いをしてください。また、乾いた清潔なふきんで、油槽内の付着した水分を完全に拭き取ってください。



#### ⚠ 使用上の注意

汚れが酷いときは、これらの手順の前に以下の手順を追加してください。

アルカリ性洗剤を入れた水を油槽に注ぎ、80℃にセットして約30分湯せんし、冷めてから排水してください。

#### お知らせ

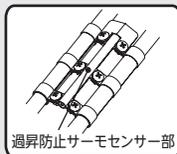
・操作パネルのお手入れには、アルカリ性洗剤を使用しないでください。湯温調整ダイヤルに亀裂が発生します。

・外装の掃除に、みがき粉（クレンザー）、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

## 毎日のお手入れ

### 過昇防止サーモ

- 1 ヒーター及び油槽が十分に冷えたあと、中性洗剤を使用し、スポンジなどのやわらかい洗浄用具で洗浄してください。



- 2 洗浄後は水洗いし、残った水分をやわらかい布で拭き取ってください。

#### ⚠ 使用上の注意

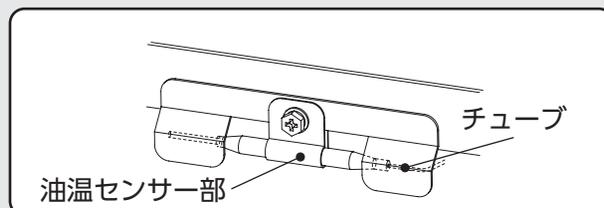
黒い炭化物や揚げガスが付着したままご使用されますと、過昇防止サーモセンサーの温度検知がにぶくなり、火災、誤作動の原因になります。

#### お知らせ

- ・過昇防止サーモ、油温センサー部、チューブを掃除するときは、固いものを接触させないでください。
- ・チューブは強く曲げないでください。変形すると誤作動、火災の原因になります。
- ・油温センサー部の先端でケガをしないよう注意して掃除をしてください。

### 油温センサー

- 1 中性洗剤を使用し、スポンジなどのやわらかい洗浄用具で洗浄してください。
- 2 洗浄後は水洗いし、残った水分をやわらかい布で拭き取ってください。



## 一週間に1回のお手入れ

### 外装

- 1 中性洗剤を加えた、35℃から40℃程度のぬるま湯をふきんに含ませて軽く拭きます。



- 2 3分後に、洗剤分が残らないように、水を含ませたふきんで拭き取ってください。

